

# ～市民の力で“<sup>みやこ</sup>宮古まち”に賑わいを～

平成26年地域政策研究センター(地域提案型・後期) 採択課題

課題名 : 中心市街地の活性化に向けた市民参加型構想の研究  
研究代表者 : 盛岡短期大学部 准教授 内田信平  
課題提案者 : 宮古市  
研究メンバー : 北原啓司(弘前大学教育学部)、多田康、岩間健、竹田真人(宮古市)  
キーワード : 震災復興、まちづくり、ワークショップ、中心市街地活性化

## ▼研究の概要(背景・目標)

宮古市の中心市街地拠点施設整備事業、および、これに伴う現市庁舎跡地整備計画は、震災復興後のまちづくりの命運をかけたプロジェクトであり、市民の意見を反映しながら進めていくことが重要である。この事業に関連する諸課題について、市民参加型の議論を進め、方向性を見出すことを目指す。

## ▼研究の内容(方法・経過)

議論の母体として「まちづくり市民会議」と名づけた市民組織を結成し、「現在の市庁舎と整備予定の拠点施設を核とした中心市街地地区につながりを築き活性化を生み出すアイデア」をテーマとして、市民参加によるワークショップ形式の議論を行った。最終回に、成果のプレゼンテーションを実施した。

## ▼これまでに得られた研究の成果

計8回実施したワークショップの内容を以下に示す。

### (1) 第1回市民ワークショップ(H26.11.29)

弘前大学北原教授による基調講演の後、「賑わっているまち」の様子をイメージ、意見を出し合い、共有した。



### (2) 第2回市民ワークショップ(H26.12.20)

「まちが賑わっている」というイメージを実現するためのアイデアを各自で考えて発表し、参加者全体で共有。



### (3) 第3回市民ワークショップ(H27.1.24)

これまで考えたアイデアがより具体的になるよう、実際にまちを見て歩く「まち歩きワークショップ」を実施した。



### (4) 第4回市民ワークショップ(H27.2.21)

前回のまち歩きで得られたことを基に、歩くルートをイメージしながら「まち歩きマップ」としてまとめた。



### (5) 第5回市民ワークショップ(H27.4.11)

特別講座と位置づけ、タウン情報社の橋本久夫氏より、昔の宮古の街や暮らしの様子を紹介していただいた。



### (6) 第6回市民ワークショップ(H27.5.23)

シナリオづくりワークショップ…「ある土曜日のまちなかでの過ごし方」をイメージして、シナリオを作成。



### (7) 第7回市民ワークショップ(H27.6.20)

シナリオづくりワークショップ続編…前回作成したものを基に、現市庁舎跡地に焦点を当ててイメージを膨らませた。



### (8) 第8回市民ワークショップ(H27.8.1)

これまで示されたイメージを改めて1つのストーリーとしてまとめ、山本市長にプレゼンテーションを行った。



## ▼おわりに(まとめ・今後の展開)

1. 中心市街地活性化のイメージについて、「まち歩き」「シナリオづくり」の手法を用いることにより、「何がほしいか」ではなく、「何をしたいか」「どう過ごしたいか」という視点での意見共有を行うことができた。
2. 一連のワークショップで得られた成果は、市民意向として報告書にまとめ、中心市街地拠点施設整備事業および現市庁舎跡地整備計画の策定へ反映させる。
3. 今後(27年度下期)は、新拠点施設の活用、現市庁舎跡地の活用を念頭に、今回のワークショップ参加者を中心とした市民による活動の具体化を目指して、「まちづくり市民会議」の第2期の活動を実施する予定。